市政ニュース

三月議会 一般質問

地方拠点都市でホットな論議

三月定例市議会（第二百三十一回議会定例会）が三月六日に開会、二十三日までの十八日間の日程で開かれ、平成四年度南国市一般会計予算など二十九議案を可決。　一般質問は十日から十三日までの四日間行われ、吉村、福田、山本（弘志）、高島、今西、松木、門脇、竹内、池本、中村、西岡、島内、山崎、溝渕各議員が、市長の政治姿勢や教育行政について執行部の考えをただしました。

ハイテク・パーク予定地周辺

地方拠点都市法へ熱い眼差し

問　地方拠点都市整備法について、橋本知事にたいして、南国市を指定してもらうよう、要請したとのことであるが、自主財源の確保は大丈夫か。

　法の活用によって、市の実施計画にあるプロジェクト事業を推進して行けるような方法が取れるのか。

答：今国会に提案されたところだが、国の六省庁と知事の協議により、知事が指定するものである。公共施設の整備、道路、下水道、市街地再開発など、どの分野でどのような事業を行っていくのか自らが考えなければならない。

　ほかにも希望する市があるようなので、対策本部のようなものを設けたい。副県都としての機能を備えるためには、ぜひとも指定を受けたい。

　こうした制度やその他の施策を活用し、百民負担を軽減しながら、選択的な投資を行い、将来の財政力の強化を図りたい。

中心市街地の形成を

問：市街地再開発事業については、地元住民の考えも様々であり、非常な困難が予想されるなか、地元では準備組合設立に向け努力をしているが、行政としてどう関わっていくつもりか。

答：中心市街地の開発は、市勢発展にとって重要な問題であり、今年度中の準備組合発足へ努力したい。

問：組合施工とは言え、強力な行政の援助がなければ、計画は推進出来ないと思うが。

答：道路をどうするのか、コミュニティーをどう形成するか、企業家がどうした発展策を作るのかなど意見をだしあう中で、国、県の指導を得ながら進めたい。

問：阿佐線の後免町駅について、従来の計画が変更されたようなことを聞くが。

答：土佐くろしお鉄道と土電の意見が食い違っており、なかに立って意見を聞きたい。個人的には、乗り換えに傘をささなくていいようでなければと思っている。

課題は土地利用

問：ハイテク・パークの進み具合は。

答：現地調査、用地測量などほぼ完了したので、五月末までには用地買収に取りかかりたい。造成についても、加入二十一社、県、市で協議中である。ソフトワニア、センターも国の承認を得たので、重点的に取り組む。

問：医大周辺の都市計画については、開校時も計画されたが、反対もあり実施出来なかったが、これからどう対処するか。

答：すぐにはいかないかもしれないが、市街化区域にするべき方向で、地域と話し合いたい。

学校五日制へ環境の整備を

問：日章小学校の改築については、木造建築をという声もあるが。

答：財政面、建物の形状、防音面から、鉄筋コンクリート造りを考えている。

問：香長中学校に、すぐ近くを東部自動車道、下田川改修工事など教育環境が悪化するとも、測するが、移転してはどうか。

答：第2次実施計画では、既存の校舎を活用するとされているし、移転には多大な財政負担がかかる。

問：学校の月一回週五日制が九月からと検討されているが、受け皿など大丈夫か、また、教育水準の低下を招きはしないか。

答：どう教育水準を維持するか、開かれた学校として、地域社会とどう協力していくか、研究委員会を設置して七月まで研究していく。

　また、親と子が共有できる時間を多くし、自然とも親しむ時間をいかに有効に持つことの啓発活動にも取り入れていく。

問：今年も海外とのスポーツ交流が予定されているが。

答：過去の実績もあり、今年も県補助事業として採択された。治安のようなことも考え、今年も、韓国を予定している。

中学校でもパソコン学習が

問：小学校、中学校でのワープロ、パソコン教育はどうなっているのか。

答：学習指導要領にもあるように、情報教育の充実に努めている。小学校には既にワープロを購入しており、中学校に、今年度と来年度で、それぞれ四十台のコンピータを購入する予定です。

国保会計がピンチ

問：国保会計の悪化に伴う、国保税の引上げがありはしないか。

答：診療報酬の引上げに加え、老人人口の確実な上昇と若年層人口の減少が国保会計を悪化させている。市長会などを通じ、国に財政的な手立てを要請したいが、結局は国保税の引上げを行わざるをえない。

期待される保健行政

問：保健センター建設はどうなっているか。

答：四月には、国より内示がある予定であり、五月から建設準備ができる。施設内部に医師会の事務局を置き、ここをゴールド・プラン推進の拠点としていく。

問：健康カードの導入について、以前の質問では時期尚早とのことであったが、高齢化社会を迎え、自分の健康データを管理するシステムにぜひ必要と考えるが。

答：国も関心を持っていると聞くので、検討してみたい。

問：市費のいらないような、例えば郵政省の資金による保養センターのようなものも誘致してはどうか。

答：積極的に考えていきたい。

文化ホール・空港は？

問：県民文化ホールの誘致については。

答：県民は質の高い芸術を享受したがっている。そのため、松山市にあるような音響、採光の面でも、中央レベルに匹敵するような施設をと考え、知事にも要望している。

問：空港問題についての進展があるか。取り組みの窓口をどこにするのか。

答：前回拡張時の約束事がまだ履行されていない等、県への不信を取り除くことが第一歩だと知事にも伝えた。市の窓口は企画課とし、窪田助役を責任者とする体制でのぞむ。

可決された主な議案

■**平成三年度南国市一般会計補正予算**＝不足する退職手当、事業計画の変更に伴う野中小集落地区改良事業費などの増額補正。市道住吉野南線改良事業費などの減額補正。

　総額五億二千八百十五万円の補正予算。

■**平成四年度南国市一般会計予算**＝総額百四十一億千五百九十八万円。対前年度比八・三％の減（詳しくは四月号に掲載）

■**平成四年度南国市下水道事業特別会計予算**＝浦戸湾東部流域関連公共下水道事業四億七千八百二十万円、新市街地下水道施設費、十市浄化センター維持管理費、総額七億六千八百三十七万円。

■**平成四年度南国市老人保健特別会計予算**＝総額四十二億八千百八十五万円。対前年度比四・〇％の増。

■**平成四年度南国市住宅新築資金等貸付事業特別会計予算**＝総額四億三千百二十二万円。対前年度比七・二％の減。

■**平成四年度南国市国民健康保険特別会計予算**＝総額三十四億五千三百六十二万円。

　前年に比べ八千七百十四万円の増額。

■**平成四年度南国市水道事業会計予算**＝主要な建設事業では、上水道事業として下水道工事に伴う配水管布設替え、片山地区への給水のための配水管布設工事。簡易水道事業として久礼田地区配水管布設替えなど。

　事業に伴う収益的収支は、四億六千五十一万円。対前年度比四・三％の増。

■**南国市課の設置に関する条例の一部を改正する条例**＝ハイテクパーク開発事業、物流拠点基地、企業誘致などの整備促進が円滑に効果的に推進できるよう、産業経済課の商工水産係を分離独立させ、商工水産課を設置、産業経済課を農林課に改称する。

■**南国市国民健康保険条例の一部を改正する条例**＝南国市国民健康保険被保険者が出産したとき、当該被保険者の属する世帯の世帯主に対し、助産費として二十四万円を支給する。

　三月定例市議会の議事録は六月以降市立図書館で閲覧できる予定ですので利用してください。